

平成22年5月12日  
原子力安全対策課  
(22-20)  
<15時記者発表>

## 高浜発電所4号機の定期検査状況について

(発電機水素ガス冷却器の冷却水入口弁フランジ部からの漏れによる発電停止)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

高浜発電所4号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力87.0万kW）は、第19回定期検査の調整運転開始として、平成22年5月10日18時43分に発電機を並列した後、徐々に出力を上昇し、12日0時20分に75%出力に到達した。

75%出力運転中の本日5月12日5時15分頃、2次系の弁操作のため現場に向かう途中の運転員が、タービン建屋1階で水の滴下を発見したため、その上方の2階面を調査したところ、発電機内部を冷却する水素ガスを冷やすための発電機水素ガス冷却器4台（No.1～4）のうち、No.2冷却器の冷却水入口弁フランジ部から冷却水（3滴/秒）が漏れていることを確認した。

このため、漏れた水の飛散防止措置を行い、漏れに大きな変化がないことを監視するとともに、9時40分に当該冷却器の出入口弁を閉止し当該部を隔離したところ、漏れは停止した。

今後、漏れ箇所の点検および補修を行う。このためには、当該弁の上流側にある冷却器4台に冷却水を供給する共通の系統を隔離する必要があることから、発電を停止する。

今後、本日16時頃から出力降下を開始し、本日21時頃に発電を停止した後、冷却器の冷却水系統を隔離し、点検および補修を行う。

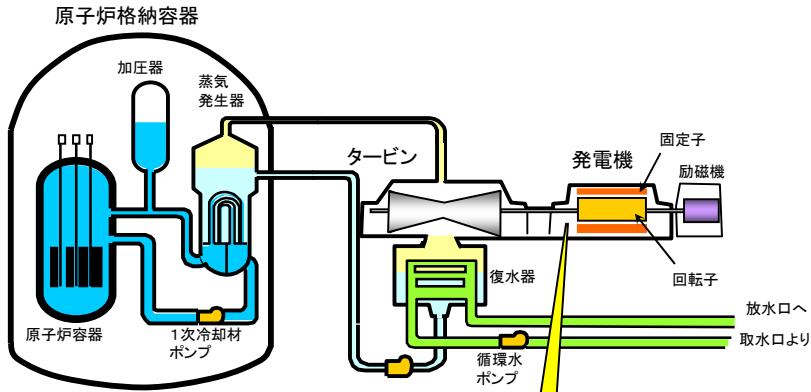
現在、発電機水素ガスの冷却器出口温度（約35℃）や発電機水素ガス冷却器冷却水系統の圧力（約0.6MPa）等に異常はなく、プラントの運転パラメータにも影響はなく、安定している。

なお、今回の事象による環境への放射能の影響はない。

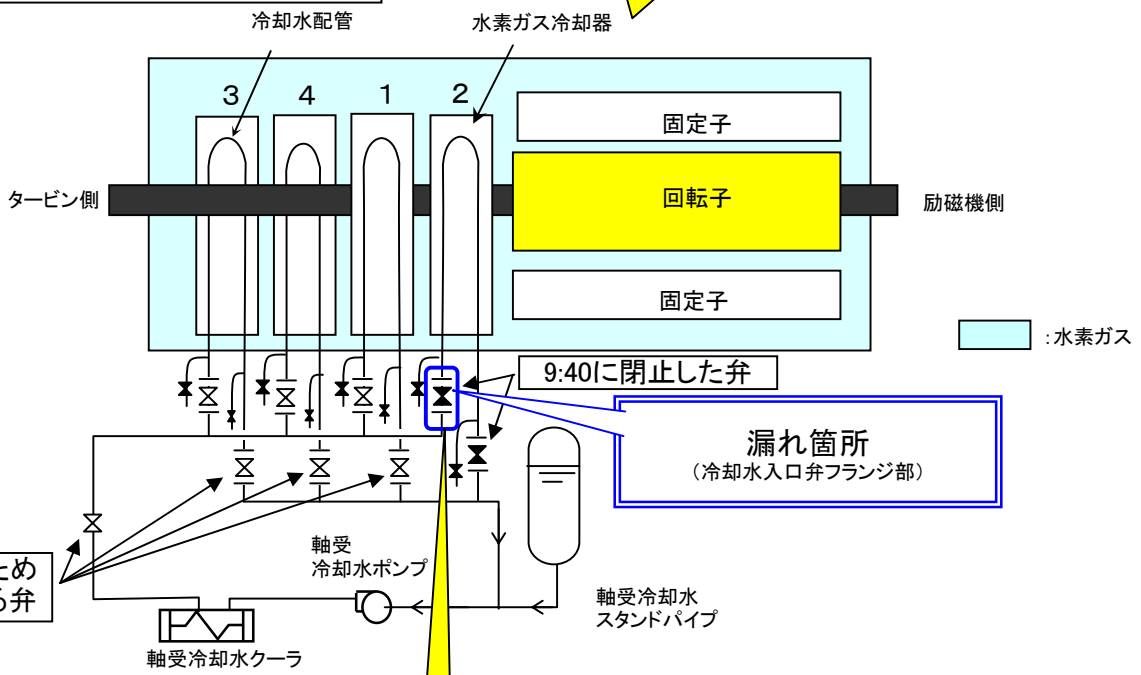
問い合わせ先(担当：神戸)  
内線2354・直通0776(20)0314

高浜発電所4号機の定期検査状況について  
 (発電機水素ガス冷却器の冷却水入口弁フランジ部からの漏れによる発電停止)

系統概要図

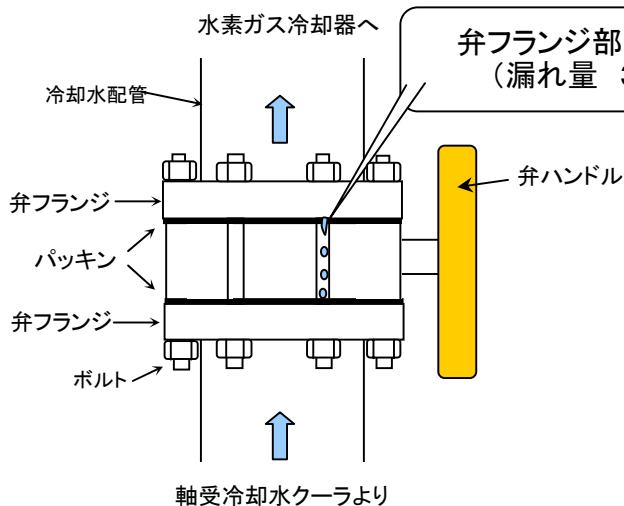


水素ガス冷却器冷却水系統概要図



水が漏れた弁フランジ部の拡大図

→ : 冷却水の流れ



漏れ箇所の写真

